

令和 6 年 6 月 22 日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
担当 動物園 永田・江口
電話 7 8 2 — 2 1 1 1
よこはま動物園同時発表

東山動植物園所有のマレーバクが死亡しました

当園所有で横浜市立よこはま動物園ズーラシアにて飼育されていたマレーバクのオス 1 頭が、台湾の台北市立動物園への移動中に死亡いたしましたので、お知らせします。

記

1 死亡したマレーバク

- (1) 愛 称 ひでお
- (2) 性 別 オス
- (3) 年 齢 2 歳 (2022 年 1 月 12 日 横浜市立よこはま動物園ズーラシア生まれ)
- (4) 死亡日 令和 6 年 6 月 22 日 (土)

※ひでおは東山動植物園に来園したことはありません。

2 台北市立動物園に移動した理由について

横浜市立よこはま動物園ズーラシアにて飼育されていたひでおの所有権を名古屋市東山動植物園へ移し、令和 6 年 3 月 20 日に台北市立動物園から来園したオスのマレーバク 獼豆 (モドゥ) との交換動物として移動しました。

3 死亡原因について

台北市立動物園等関係機関と協力して死亡した原因等を調査中です。

(参考)

■国内のマレーバク飼育頭数（2024 年 3 月末時点）

13 施設 34 頭（オス 19 頭、メス 15 頭）

■マレーバク（奇蹄目バク科）について

学 名： *Tapirus indicus*

英 名： Malayan Tapir

分 布： スマトラ島南部と中央部、マレーシア半島、タイ、ミャンマー

形 態： 頭胴長 235～250cm、体高 90～105cm、体重 260～400kg。バク科の中では最大。体色は黒と白のツートンカラーで、肩から腰、腹部にかけて白い体毛が生えている。耳の先端は白く縁どられている。指の数は前肢が 4 本、後肢が 3 本である。幼獣は茶色地に白い縞と斑点があるウリボウで、成長するに従い親と同様な毛色となる。

生 態： 密林、やぶ地、水辺の草地に単独か親子で暮らし、基本的には夜間に活動する。一般的に低地で生活するが、標高2700mを超える地域で発見されることもある。1 産 1 仔で、妊娠期間は 390 日～400 日。ワシントン条約附属書 I 表、I U C Nレッドリスト：E N（危機）。